

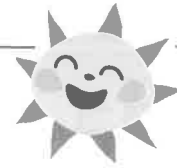
病弱教育セミナー2017

受講生募集中

近年、病気療養児にとって教育が極めて大切であるという、社会的な認識が高まってきています。病気療養児にとって、教育は単に学習効果をあげるのみならず、病気回復の意欲を培い、治療効果を

より高めるとの知見も得られています。そこで、病弱教育に携わる教師や医療・福祉の現場でこれらの子ども達と接しておられる方々を対象に、わが国の病弱教育の現状や、病気の種類とその特徴、医療

の現場の実際、入院や在宅している子ども達の実情をもとに、病気療養児の教育充実を目的に本セミナーの開催を計画いたしました。



期 日 平成29年1月7日(土)開講 10:00~8日(日)閉講 17:00

場 所 飯田橋レインボービル会議室
☎03-3260-4791 東京都新宿区市谷船河原町11番地

交 通 JR総武線、地下鉄有楽町線・南北線・東西線・大江戸線飯田橋駅から徒歩約5分~9分

対 象 特別支援教育を担当する教師 及び 医療や福祉関係者、並びに関心のある人々。先着40名。

受講料 10,000円 ※宿泊・食事は各自でご用意ください。

主 催 認定NPO法人 難病のこども支援全国ネットワーク

後 援 厚生労働省・文部科学省・日本育療学会・全国病弱教育学校PTA連合会(予定)

助 成 一般財団法人 日本児童教育振興財団

講 師 山城雄一郎(順天堂大学大学院 プロバイオテクス講座教授、難病のこども支援全国ネットワーク相談役)

横田 雅史(帝京平成大学現代ライフ学部教授)

三宅 捷太(みどりの家診療所所長、難病のこども支援全国ネットワーク理事)

下山 郁子(横浜重心グループ連絡会 ~ばざぼネット~ 会長)

真部 淳(聖路加国際病院小児科医長)

斉藤 淑子(金沢大学非常勤講師、武庫川女子大学大学院)

丹羽 登(関西学院大学教育学部教授)

遠藤 明史(厚生労働省健康局難病対策課課長補佐)

菊池 祥子(臍の会代表)

岡 明(東京大学医学部小児科教授、難病のこども支援全国ネットワーク理事)

広瀬 宏之(横須賀市療育相談センター所長)

海津 敦子(フリージャーナリスト)

椿 俊和(つばきこどもクリニック院長)

栗山真理子(NPOアレルギー児を支える全国ネット「アラジーポット」代表)



カリキュラムスケジュール

病気の子ども教育に生かせるカウンセリング

- | | |
|---|---|
| <p>講 義</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 肢体不自由の子ども学校生活 ② 特別支援教育と病気や障害のある子どもの教育 ③ ターミナルケアの子ども学校生活 ④ 厚生労働省の取り組み ⑤ 保護者から病気や障害のある子どもの教育に望むこと | <ul style="list-style-type: none"> ⑥ 病気や障害の子の教育の意義 ⑦ 発達障害の子ども学校生活 ⑧ 免疫・アレルギー性疾患の子ども学校生活 ⑨ これからの教育の対象児と新しい医療 |
|---|---|

認定NPO法人
難病のこども支援全国ネットワーク

認定NPO法人 難病のこども支援全国ネットワーク 〒113-0033 東京都文京区本郷1-15-4 文京尚学ビル
TEL.03-5840-5972 FAX.03-5840-5974 ganbare@nanbyonet.or.jp http://www.nanbyonet.or.jp

病弱教育セミナー2017 受講申込書

| | | | |
|----------|-----------|--------|----|
| 氏名(ふりがな) | 性別 男・女 | 年齢 | 職業 |
| 住所：〒 | | | |
| TEL | FAX | E-mail | |

※このページをコピーして、下の受講申込欄に必要事項をご記入し、FAXまたは郵送にてお申し込みください。

FAX.03-5840-5974